



ロープウェイ入口電停周辺地区景観まちづくり指針(素案)について、 みなさんからのご意見を募集します!!

**募集
期間**

平成28年(2016年) **2月18日(木)** ~ 平成28年(2016年) **3月2日(水)**まで【消印有効】

- 路面電車の路線ループ化や、新型低床車両の導入など、沿線地区の快適性や利便性、地区の魅力がさらに高まる状況へと変わってきています。
- これらの機会をとらえ、魅力的な景観づくりを推進するため、地域住民の皆さんと協力して「景観まちづくり指針(素案)」をとりまとめました。
- この指針に基づき、景観まちづくり活動や景観形成誘導区域(※下図参照)におけるきめ細やかな届出を行うことで、より魅力的な景観の形成を目指します。

指針をもとに景観まちづくりに取り組むことで期待される効果

住環境の保全や向上
来訪者の評価が向上



地域の皆さんにとっても、来訪者にとっても地域の魅力が高まります

これまでの経緯

平成26~平成27年
全5回の
意見交換会

平成27年10月31日
~11月11日
路面電車沿線、環状通沿道の方々に
アンケートを実施

平成27年11月実施
沿道事業者等の方々に
ヒアリングを実施

平成27年11月25日
第6回
意見交換会

**意見
募集**

平成28年3月15日(予定)
第7回
意見交換会

指針策定
(予定)

意見の提出方法 同封の「ロープウェイ入口電停周辺地区 景観まちづくり指針(素案)」の巻末をご覧ください。

「景観まちづくり指針」で変わることに

①対象区域

■(仮称)景観まちづくり推進区域

・指針の内容が適用される区域です。

■景観形成誘導区域

・一定規模を超える建築物等は札幌市への届出を必要とする区域です(※以下、届出対象となる行為の例)。

【建築物等】に関する行為

・高さ10メートルを超える建築物の新築、増築、改築、移転など

【広告物】に関する行為

・10平方メートルを超える屋外広告物等の表示など



②目標・方針

藻岩山を地域のシンボルとした景観まちづくり

③基準や活動

■景観形成の基準(街並みのデザインコード) ……以下の4つについて定めます

(1)みどり

(2)建築物等

(3)夜間景観

(4)広告物等

■みんなで取り組む景観まちづくり活動

・地域の皆さんと意見交換を重ねながら検討してきた「みんなで取り組む景観まちづくり活動」についても示します。

※詳しい内容は、同封の「ロープウェイ入口電停周辺地区 景観まちづくり指針(素案)」をご覧ください。

意見交換会での主な検討結果(第1回～第5回)

●山鼻第12・18町内会を中心とした地域の皆さまと、平成26年3月より意見交換会を全6回(※平成28年3月15日開催予定の第7回が最終回)開催し、「景観まちづくり指針」の内容を検討してきました。

第1回意見交換会の主な検討結果(平成26年3月18日)

景観まちづくりで大切にすべきこと

- 藻岩山の美しい自然・シンボル性
- 屋外広告物などの景観配慮
- 人を惹きつける文化の継承
- たくさんの“緑”を創出
- 地域にあった魅力的な街並みデザイン
- 落ち着いた生活環境



※大切にすべきことについて、皆さんで投票しました



第2回意見交換会の主な検討結果(平成26年11月18日)

自分たちで取り組みそうなことのアイデア

- ①沿道緑化・花植え活動(小学生や高校生などと協力して)
→環状通など沿道/シャトルバス乗り場の演出 …など
- ②冬ならではの景観づくり(小学生や高校生などと協力して)
→雪あかり、かまくらづくり …など
- ③地域の魅力を地域内外にPR
→藻岩山、藻岩山から水道記念館に抜ける散策路のPR …など
- ④観光客の案内(地域でボランティアガイドなど)
- ⑤地域の色などを考える
→看板、建物など街並みに統一感を出したい …など



第3回意見交換会の主な検討結果(平成27年2月13日)

景観まちづくりテーマ&イメージ

藻岩山がまちづくり
の中心(共通)

具体的にどのような環境にしていきたいか(主にハード面)

花とみどり、日々の暮らしが一体になる/ベンチなどの設置、
電停付近・周辺の設え/歩いて楽しめる環状通/電停付近・シャトルバス乗り場/屋外広告物/周辺の環境に合わせた照明/にぎわいと暮らしのバランス など



第4回意見交換会の主な検討結果(平成27年3月13日)

街並みづくりを検討するうえで大事な要素

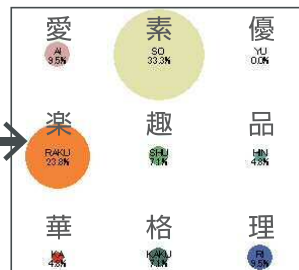
- デザイン | 藻岩山のシンボル性が大事(自然素材、山への眺望など) など
- 色 | 地域の色をテーマを検討 など
- みどり | 人が集まる場所や主要な道路などに、花植えや植栽 など
- オープンスペース | 地先の緑化など、空間の有効活用 など
- 広告物 | 地域にふさわしい景観に配慮した広告物の検討 など

地域のイメージカラー※ ～お試しアンケートの結果～

アンケート票の中から
地域に合う「形容詞」を選ぶ

多かったもの
自然な/居心地の良い/
和やかな/都会的な素朴な

「形容詞」を代表的な色に置きかえると…



※札幌イメージコーディネーター研究会(SICS)の協力のもと、参加者の皆さんにお試しで取り組んでいただきました(上図は当時の結果)。
※色彩に関する基準などは「(仮称)南17条西16丁目公園」のワークショップとも協力しながら、検討しました。

第5回意見交換会の主な検討結果(平成27年9月25日)

●これまでの意見をふまえて、指針に掲載する項目・構成案をもとに意見交換を行いました。(下記は当時の案)

①対象区域

(山鼻第12・18町内会範囲)

- 町内会範囲「(仮称)景観まちづくり推進区域」。
- 対象区域のうち、積極的に景観誘導を図る沿道は「景観形成誘導区域」。

■町内会の範囲で概ね良い

②目標・方針

- 藻岩山を地域のシンボルとした景観まちづくり。
- 目標を実現する5つの方針。

■目標・方針の考え方は概ね良い

③基準や活動

- 「みどり」「建物」「広告物」「賑わい創出」「環境美化」の基準。
- 地域で取り組む活動。

■地域の実情にあった基準が必要(みどりの基準など)
■広告物の基準は必要である
■地域の資源を活用すると賑わいにつながる表現が良い

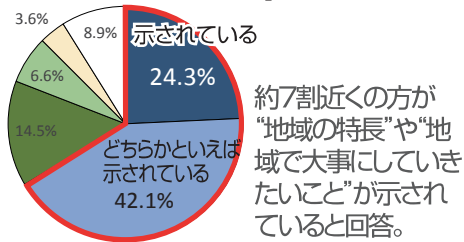


アンケートの結果概要(平成27年10月31日～11月11日)

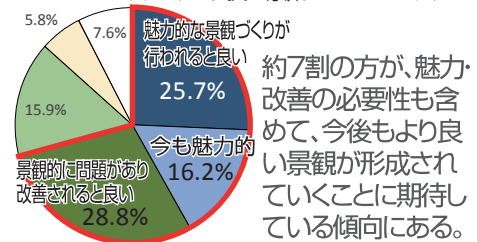
実施概要

調査対象:路面電車沿線、環状通沿線の方々 配布数:1,156配布 回答者属性:男性約4割、女性約6割
実施期間:平成27年2月10月31日～11月11日 回収数:304票(26.3%) 50歳代の方(約2割半)の回答が最も多かった

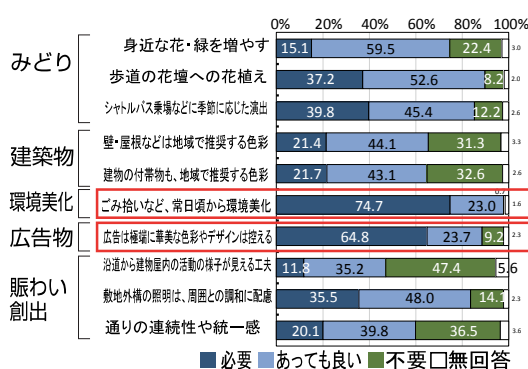
○『目標方針』に“地域の特長”や“地域で大事にしていきたいこと”が示されているか



○景観形成誘導区域(福住桑園通、環状通、藻岩山麓通、市道ロープウェイ・山麓線)の今後の景観はどうなると良いか



○魅力的な景観づくりの『基準』として必要か、自身は取り組めるか



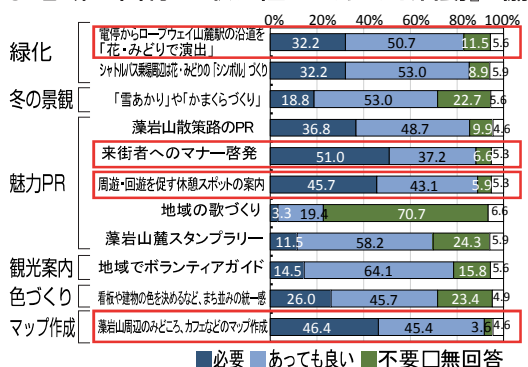
・「みどり」に関しては、全体の7～8割が、「必要」「あっても良い」。

・「建築物」の色彩は、『地域で推奨する色彩から選ぶ』が約6割。統一しすぎてもよくない、との意見。身近な活動として取り組みやすい『環境美化』の必要性も高い。

・派手な『広告物』は景観を損ねる。

・その他、「電停付近は夜になると暗く寂しい」などの意見。

○地域の皆様が取り組みそうな『活動』、協力・参加してみたいものはあるか



全体的に「必要」「あっても良い」との回答が多い。

「花植え活動」「マナー啓発」「マップ作成」などの必要性が高いと感じている。

【自身が協力・参加してみたいもの】

「条件があれば参加」の回答が約4～5割強。

全体的に、身近な花・緑の活動に対する参加意向があった。

対象区域 指針案への反映

■(仮称)景観まちづくり推進区域
・山鼻第12・18町内会の範囲。

■景観形成誘導区域
・沿道のより良い景観形成を推進していくことに期待がある。

目標・方針 指針案への反映

・ロープウェイ入口電停周辺での内容とイメージしやすいように文章を変更。

基準 指針案への反映

■みどりに関する基準
・外構部分を対象とし「景観まちづくり推進区域」で推奨。

■建築物に関する基準
・「札幌の景観色70色」と合わせて「地域のカラーパレット」から選択を推奨。
・ごみステーションなどの付帯設備に関する項目を『景観形成誘導区域』に追加。

広告物に関する基準

・広告物の基準を設定。

夜間景観に関する基準

・外構等に設置する照明について「景観形成誘導区域」を対象に追加。

景観まちづくり活動 指針案への反映

・いただいた意見を踏まえて、大きく7つの活動に整理。

事業者等ヒアリングの結果概要(平成27年11月に実施)

実施概要

調査対象:環状通沿道・市電通沿線に立地、もしくは沿道の街並み形成に関連しそうな店舗・事業者等(カフェ・飲食業、販売・サービス事業者、学校)計10社程度 実施期間:平成27年11月実施

○対象区域

・エリア名称を付けることによりPRしやすくなるのではないかと。

対象区域 指針案への反映

※上記の反映内容と同様。

○目標・方針

・目標と方針の考え方は概ねよいのではないかと。

目標・方針 指針案への反映

※上記の反映内容と同様。

○沿道の「みどり」に関する基準

・沿道へのプランターの設置や雪あかりなどの取組は一体感がでる良い。

みどりに関する基準 指針案への反映

※上記の反映内容と同様。

○沿道の「建築物・工作物」に関する基準

・「色を推奨、悪いものを入れないルール作りが必要」「推奨する色の公共物を設置するとよい」などの意見。

建築物に関する基準 指針案への反映

※上記の反映内容と同様。

○景観まちづくり活動の協力可能性など

・環境美化などは、地域と協力できそう。
・マップ等作成は具体的になった段階で協力など検討したい。

景観まちづくり活動 指針案への反映

※上記の反映内容と同様。

第6回意見交換会の主な検討結果(平成27年11月25日)

- 山鼻第12・18町内会を中心とした地域の皆さまにお集まりいただき、6回目の意見交換会を開催しました。
- 前回の意見交換会、アンケート結果、ヒアリング結果の内容を反映した「景観まちづくり指針のたたき台」をもとに、参加者の皆さんと内容の確認を行いました。



主なご意見と指針案への反映・対応

○対象区域についての主な意見

・規模、内容とも、全体として良い。

対象区域

指針案への反映・対応

■指針たたき台の記載内容を基本とする。

○目標・方針についての主な意見

・具体的になり、内容をイメージしやすくなった。
・市電”や”伏見”のキーワードが入っていても良い。

目標・方針

指針案への反映・対応

■目標・方針ともに「路面電車」の言葉を追記する。
■5つの方針のひとつに「山鼻・伏見」の言葉を加える。

○基準についての主な意見

【みどり】

・建物単体のイラストでは、緑のつながりが分かりづらい。

みどりに関する基準

指針案への反映・対応

■緑のつながりが分かりやすいイラストへ変更。

【建築物等】【夜間景観】

・内容は概ね良い。

夜間景観に関する基準

指針案への反映・対応

■指針たたき台の記載内容を基本とする。

【広告物】

・藻岩山の眺望は必ず配慮するようにした方が良い。
・広告物の推奨例があると良い。

広告物に関する基準

指針案への反映・対応

■「藻岩山への眺望配慮」の文言を追記する。
■推奨例のイラストを追加する。

○景観まちづくり活動についての主な意見

・資源への案内や誘導が必要ではないか。
・藻岩山の”水”も資源のひとつと考えられる。
・地域の歌をつくってはどうか。

みんなで取り組む景観まちづくり

指針案への反映・対応

■景観まちづくり活動のうち「地域内外に地域の魅力をPR」に含まれているとご理解ください。

○「景観まちづくり指針」全体についての主な意見

【「指針」の効果的な運用】

・長期的視点でのまちづくり・見直し・更新していくことが必要である。

【将来、理想とする街並み】

・(指針に盛り込むことは難しいが)将来的に、電線などの架線類、電柱などが地中化されると、街並みとして確実に良くなると思う。

景観まちづくり指針の見直し

指針案への反映・対応

■地域を取り巻く状況の変化に応じて、「景観まちづくり指針」の内容を見直ししていくことができることを、追記する。

※第7回は、第6回の意見と、今回の「景観まちづくり指針(素案)」に対する意見募集結果を踏まえた指針案の最終的な確認を行います。

今後の予定について

- 第7回の開催を予定しています。参加希望の方は、右の連絡先までご連絡ください。

平成25年～平成26年

全4回実施

平成27年

第5回

9月25日(金)

平成27年

第6回

11月25日(水)

平成28年

第7回(最終)

3月15日(火)

14:00～16:00

於 伏見小学校

4階 会議室

お問い合わせ先

札幌市 市民まちづくり局
都市計画部 地域計画課
担当:山本(純)、山本(成)
TEL:011-211-2545
FAX:011-218-5113

URL:<http://www.city.sapporo.jp/keikaku/keikan/index.html>

